授業科目	保育実習Ⅲ					実務家教員担当科目	-
単位	2	履修	選択	開講年次	4	開講時期	通年
担当教員	文屋　典子						
授業概要	児童福祉施設における実践を通して児童福祉施設の役割や機能について理解を深め、保育士に求められる知識、技術、判断力、態度を養う。子どもとの関わりをとおして信頼関係を形成すること、生活環境を整え日常生活支援を行うことの実践を通して、子ども一人ひとりの特性やニーズを理解して対応すること、保育指導案や支援計画の立案について学ぶ。子どもと家庭のニーズを理解しそれに対応する能力を培い、関係機関との連携や地域との協働、保育士の多様な業務と職業倫理について考察を深める。						
授業形態	実習			授業方法	実習		

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	1．児童福祉施設の役割や機能について実践を通して理解している。 2．子ども一人ひとりの特性やニーズを理解し、適切に対応する方法を教わりつつ実践している。 3．家庭と地域の生活実態にふれて、子ども家庭福祉、社会的養護、障害児支援、保護者支援、家庭支援のための知識を身につける。 4．保育士の業務内容や職業倫理について具体的実践に結びつけて理解している。 5．実習で直面した自己の課題を理解している。
理想的レベル	1．児童福祉施設の役割と機能について実践を通して理解を深め、既習の教科や保育実習の経験を踏まえて保育実践に必要な知識技術を理論化、体系化して理解できている。 2．子ども一人ひとりの特性やニーズを適切に捉え、対応する方法を検討・実践できる。 3．家庭と地域の生活実態にふれて、子ども家庭福祉、社会的養護、障害児支援、保護者支援、家庭支援についての理解を深めている。 4．保育士の業務内容や職業倫理について理解し、専門職としての自覚にもとづいた行動ができる。 5．保育士としての自己の課題を明確にし、課題克服に向けた努力に取り組んでいる。

評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験		
小テスト		
レポート		
発表（口頭、プレゼンテーション）		
レポート外の提出物	30%	実習日誌
その他	70%	実習施設指導者による実習評価

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング

DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	○	ナンバリング	WE21632J

学習課題（予習・復習）	1 回の学習目安（時間）
実習の振り返りと記録の作成 翌日の実習への準備として、資料等に目を通しておくこと	1

授業計画

第１回	１．実習施設は、乳児院、児童養護施設、障害児施設等の児童福祉施設のうち、大学が実習施設として指定する施設とする。なお、実習先は学生の希望を踏まえ、大学側で決定する。 ２．実習期間は 10 日間とし、原則として 8 月～10 月の間に実施する。 ３．実習の目的、実習内容および実習に臨むにあたって必要となる書類の作成や諸手続き、事前学習、実習後の課題などについては「保育実習指導Ⅲ」の授業で説明する。 ４．実習期間中は巡回指導、実習後の振り返りは個別指導を行う。 ※実習の準備状況（事前学習、健康状態など）によっては、実習を履修できない場合もある。また、実習開始後も実習生として不適切な行動があった場合は実習を取りやめにすることがある。その他、実習の履修要件については、キャンパスライフの「保育実習の履修要件」をよく読んでおくこと。
テキスト	新　基本保育シリーズ　20　「保育実習」　　公益財団法人　児童育成協会監修　　中央法規　出版
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	事前学習の状態に応じて、保育実習指導Ⅲの授業の中で適宜紹介します
課題に対するフィードバックの方法	実習日誌の記述に関するフィードバックは、実習巡回指導時のスーパービジョンにおいて行います。
学生へのメッセージ・コメント	実習施設の役割と機能に関する知識、子どもの特性やニーズを理解するための知識と対人援助技術・保育技術が必要となります。 実習中の気づきや学びはメモに残しておきましょう。関連する科目の復習を丁寧に行い、実習に必要となる知識を身につけましょう。